

公益社団法人私立大学情報教育協会
2021 年度第 3 回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和 3 年 8 月 4 日（水） 17：30～19：30

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 参加者：斎藤委員長、大原副委員長、笈委員、牧野委員、玉田主査、高岡委員、佐々木委員、
和田委員、金子委員、高橋委員、中西委員、山口委員、小原委員、松尾委員、児島主査、
角田委員、阿部委員、石川委員、渡辺トバ伊
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

コンソーシアム掲載コンテンツの整備について、各委員が作成した教材、教育方法、事例などの確認を行った。

(1) 到達目標 C の更新

- ・ デジタルトランスフォーメーションを取入れ、到達点 3 と評価の考え方を変更した。
- ・ 到達点 3 「社会における情報通信システムの在り方やデジタル技術を活用した未来社会のモデルについて考察することができる」
 - ・ I o T や A I など I C T の進展を予測し、デジタルトランスフォーメーション（DX）によって社会の発展に繋がる未来社会のモデルを発想させる。
- ・ 到達点評価の考え方 n 4 点目を下記に変更
 - ・ 社会における情報通信システムの活用について、DX による革新的な価値創造に向けた未来社会のモデルを提案させる。

(2) 実課題との関連でデータサイエンス・AI の活用体験をさせる教材の作成

- ・ 社会科学分野でビジネス（ファイナンス）、文学と音楽、政治学と法律などをテーマとした AI の理解・利用・開発体験などの授業シナリオが提示され、提案の方向で進めることにした。
- ・ 委員からは、AI は万能ではないとした上でどのようにと説明した方が良いのではないかと、具体的な AI のイメージができれば分かりやすい、AI と手続き型プログラムの違いは混乱させないように注意が必要などの意見があった。
- ・ データサイエンスの授業シナリオも更新版が提示された。

(3) モデル化、シミュレーション化関連教材の作成

- ・ Society5.0 におけるモデル化とシミュレーションの授業シナリオで、ビデオやワークシートなどを更新したことが説明された。

(4) 初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育事例の充実「経営学分野」「薬学分野」

- ・ 経営学分野では、身のまわりの社会的な問題の発見と解決策の検討をテーマに授業モデル案が提示され、提案の方向で進めることにした。
- ・ 委員からは、テーマを絞った形で提示した方が良いのではないかと、討議の時間が不足すると想定されるならば回数を 4～5 回に設定してはどうかなどの意見があった。
- ・ 薬学分野では、医療人として信憑性の高いメッセージを発信するをテーマに授業モデル案が提示され、提案の方向で進めることにした。
- ・ 委員からは、グループで意見交換した気づきから、医療・健康情報を医療人として正しく相手に合わせて説明ができる必要がある、テーマを学年別を意識して整理しても良いのではないかと。

(5) 初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育事例の充実

- ・ 機械工学では、オンライン授業の形で更新が提示され、想定の内時間内では困難であるが、ブレイクアウトルームの組み換えなどの意見があった。

- ・ 被服学では、繊維製品の使用と性能変化を予測するをテーマに授業モデルが提示され、SDGs との関連として資源を無駄にしない方向で考えてはどうかなどの意見があった。
- ・ 医療系では、説明を多少見直し、解説ビデオまでの準備を進めていることが報告された。
- ・ 経済学では、働き方改革、4回の構成、反転ビデオの取り入れ方などをどのようにすべきか迷っていることが報告された。また、ピアレビューの形で評価としているが、オンラインの場合は録画が可能になるのでそれを見て評価する方法も考えられるなどの意見があった。

(6) 教育イノベーション大会分科会 F の分担

- ・ 「分科会概要・コンソーシアム等の趣旨説明」、「情報活用能力育成ガイドライン到達目標 C 到達点 3 の更新」、「プログラミング・アルゴリズム関連教材及び教育方法」、「モデル化・シミュレーション化関連教材及び教育方法」、「データサイエンス・AI 活用教育に向けた教材・教育方法」について、各 1 名で 5 分ずつ説明し、「初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育モデル」は 4 分野で各 5 分説明し、情報活用教育コンソーシアムをベースにしたデータ活用力育成に向けた推進戦略を説明した後、参加者との全体討議を 30 分間行うことにした。

VI. 今後のスケジュール

次回の合同会議は、8 月 24 日（火）に開催し、分科会での発表に向けた冊子用資料の確認を行うことにした。